

北九州港長期構想（原案）に対する市民意見募集の結果について

令和 4 年 10 月 3 日の経済港湾委員会において報告した、「北九州港長期構想（原案）」に対する市民意見募集の結果を報告するもの。

1. 市民意見募集の結果

（1）募集期間

令和 4 年 10 月 17 日（月）から令和 4 年 11 月 16 日（水）

※市役所、各区役所及び出張所での資料閲覧、市ホームページ、北九州港ホームページ等により周知を図った。

（2）意見提出状況

提出意見数：44 件（意見者 20 人）

（3）主な意見

- ・港湾労働者全般の担い手不足への対応 ※構想に反映
- ・太刀浦コンテナターミナルの泊地の埋立と荷役方式の変更
- ・ひびきコンテナターミナルの機能強化・有効活用
- ・新たなバルク岸壁の整備促進
- ・カーボンニュートラルポートの推進（洋上風力発電の導入ほか）
- ・クルーズ船の受入体制の強化
- ・老朽化対策と維持浚渫の促進

（4）意見の反映結果

- ・既に構想で対応済み : 11 件
- ・構想に反映する（追加・修正）: 1 件
- ・構想の推進の際に参考とする : 31 件
- ・その他 : 1 件

2. 今後のスケジュール（予定）

- ・令和 4 年 12 月 16 日 北九州港長期構想検討委員会（第 4 回）を開催
- ・令和 4 年 12 月下旬 「北九州港長期構想」を策定
- ・令和 5 年度 「北九州港港湾計画」の改訂

4.1.5 産業用地の確保と立地促進

新門司北地区は、フェリーターミナルを有し、近傍には太刀浦コンテナターミナル、高速道路インターチェンジが位置することから、物流事業者等の立地が進展してきました。響灘東地区は、近傍にひびきコンテナターミナルや響灘南埠頭が位置することから、製造業やエネルギー関連企業、リサイクル関連企業の立地が進展しています。

両地区ともに、産業の集積が進む一方で、新たな企業進出に対応出来る産業用地が不足しているため、新たな用地需要への対応が求められています。



図 4-13 北九州港の土地の分譲状況（左：新門司北地区 右：響灘東地区）

追加

4.1.6 港湾労働者の担い手不足への対応

全国的な労働力人口の減少や高齢化の進行により労働力不足が懸念されるなか、港湾運送事業の有効求人倍率は他の業種と比べて高く、また年々高くなっており、港湾労働者の不足が顕在化してきています。北九州港においても暑さ、寒さ等の厳しい労働環境や、職業としての認知度の低さ・イメージ等により、港湾労働者の不足を懸念する声が上がっており、港湾における労働環境の改善や働き方改革、港に対するイメージアップへの取り組みが求められています。

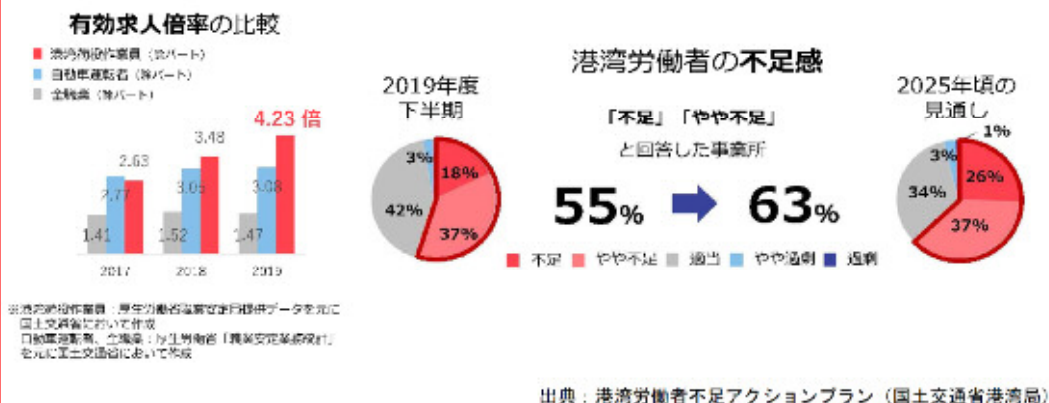


図 4-14 港湾労働者の不足状況

「北九州港長期構想（原案）」に対する 市民意見の概要及び本市の考え方

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
【意見の内容】 1 趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 内容や表現に対して追加や修正を求める意見 3 今後の進め方等に対する考え方を述べた意見 4 その他の意見		【意見の反映結果】 ① 既に構想で対応済み ② 構想に反映する（追加・修正） ③ 構想の推進の際に参考とする ④ その他		
「物流・産業」分野に関する意見				
1	デジタル技術の活用のような先進的な取り組みは、行政は民間より一歩、二歩先を行っているので、ぜひ横展開をするような仕組みを作ってほしい。	取り組みを進める際には、利用者と情報共有しながら取り組んでいきたいと考えております。	3	③
2	港湾労働力の確保や労働環境の改善は課題だと考えており、バルク関係における働きやすさの確保に関しても取り組んでほしい。	労働者不足への対応は港全体として、重要な事項として捉えており、36 ページ、第 4 章「北九州港の課題」の「4.1.1 コンテナ物流機能の強化」の一部として記載していましたが、コンテナ輸送だけでなく、港全体の課題として 39 ページに「4.1.6 港湾労働者の担い手不足への対応」を新しく追加し、記載内容を拡充しました。	2	②

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
3	<p>門司港に限らず、日本全国のどの港湾においても、慢性的な労働者不足が懸念されているところである。</p> <p>官民一体感を全国的にアピールすることによって、門司港の更なる発展に少なからず寄与できると考える。</p>	<p>労働者不足への対応は港全体として、重要な事項として捉えており、47 ページに掲げる物流・産業分野の目指す姿「物流を強靱化し、産業をリードするみなと」の中で、「デジタル技術を活用し、高度な生産性と良好な労働環境を有した働きやすい港」を掲げております。</p> <p>いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>	3	③
4	<p>港湾労働者不足は深刻である。遠隔化や自動化を行うと港で働く人も増えるだろうし、早く変えていかなければならない。</p>		3	③
5	<p>労働力不足は現在切迫している状況と感じている。長期構想にも出ている遠隔操作 RTG で、嫌われがちな屋外活動で暑い・寒いや危ないなどを避ける環境をできるだけ作っていくことや、重筋作業を無くせる設備を充実していくなどの対応が必要である。</p>		1	①
6	<p>ひびきコンテナターミナルは輸出と輸入のバランスが悪い。ひびきコンテナターミナルは、知名度が低いため、輸入先に選ばれないということを現地の船会社から聞いている。太刀浦とひびきを同じ北九州として名前を統一するような形にできれば、船会社としては使いやすくなるのではないかと思う。</p>	<p>ひびきコンテナターミナルにおける輸出入のバランスの改善は重要だと考えており、現在、輸出入のインバランスを解消するため輸入貨物を増やす取り組みを実施しております。知名度を高める必要も実感しておりますので、いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>	3	③
7	<p>博多にとられるということをよく聞かすが、北九州でできたものは北九州で取扱いたいという思いがある。一番近くて安くて効率が良いところを荷主が選択できるようにしてほしい。</p>	<p>45 ページに掲げる物流・産業分野の目指す姿「物流を強靱化し、産業をリードするみなと」を実現し、荷主に選ばれる港になるよう努めてまいります。</p>	4	③

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
8	<p>ひびきコンテナターミナルは土地も広大で、水深もあり、ロケーションを考えたもポテンシャルが高い。集貨・配送拠点に向けて機能強化をする、例えばひびきコンテナターミナルまで鉄道の引き込み線を持ってくるようなことが実現すれば、可能性はあるのではないかと考えている。</p>	<p>いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>	3	③
9	<p>北九州港、特にひびきコンテナターミナルをコンテナ積み替え（トランシップ）港として整備することはできないのでしょうか。現在の世界のコンテナ荷動きは、アジア/北米、アジア/欧州の基幹航路よりも東アジア域内の方が圧倒的に多くなっています。北九州港もアジアの中心になる潜在能力はあると思う。</p>	<p>ひびきコンテナターミナルは当初、トランシップ機能を有する環黄海圏におけるハブポートとなることを目指し、PFI 事業により整備されました。しかし、釜山港を始めとする周辺港のターミナルの急速な整備や社会情勢の変化により、取扱貨物量が伸びず、平成 19 年度に市が施設を買い取り、公共ターミナル化するとともに、地域の産業を支える港へとビジネスモデルを転換したという経緯があります。</p> <p>北九州港はアジアとの間に豊富な航路を有していますが、55 ページに記載しているとおりの、集貨支援制度の創設や物流改善の提案等を行うことにより、更なるアジア航路・国際フィーダー航路の拡充を図っていきたいと考えています。</p>	4	④

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
10	<p>太刀浦コンテナターミナルの再編の具体的内容に触れてほしい。</p> <p>海面処分場として埋立て、土地なり後に埠頭整備しヤード拡張、レイアウトの成形を行うことでヤード不足の解消、キャリアからテナーへの荷役方式の変更による荷役効率の向上、作業安全性の確保を段階的に実施するなど。</p>		2	③
11	<p>太刀浦第1コンテナターミナル、第2コンテナターミナル間の埋め立て造成を最優先させること、且つ実現に向けた具体的な計画を明示して頂きたい。太刀浦コンテナターミナルの背後地を拡張させない限り、コンテナ取扱量は頭打ちとなり、老朽化した物流施設の代替地がないため建て替えることもできない。カーボンニュートラル実現やDX推進は、一定の物量があつて初めて意味を成すもの。</p>	<p>長期構想は、概ね20～30年後の北九州港の将来の姿やそれを実現するための施策の方向性を示したものです。太刀浦コンテナターミナルの再編の内容に関しては、埋め立て造成の内容も含め、今後、港湾関係者等と協議を行いながら具体化に向けた検討を行っていきたいと考えております。いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>	2	③
12	<p>港湾の機能強化について、ひびきコンテナターミナルやその他の施設については具体的な案が出ているが、太刀浦コンテナターミナルに関しては「ターミナルの機能向上、利用促進」とあるだけで、そのために何を行うのか具体案が出ていない。太刀浦コンテナターミナルは今、ヤード不足等の問題に直面している。長期構想に即した形で、短期・中期の解決方法を検討して盛り込んで頂きたい。</p> <p>インフラの老朽化問題、船舶の大型化などに対応するために、また、ターミナルのAI化・無人化への推進には、ターミナル内の全面改修が必要と思われる。それを実現しようとするのならば、改修の間の代替コンテナターミナルを先に確保してもらわないとできない。</p>		2	③

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
13	コンテナトレーラーの渋滞については高頻度な荷繰りが大きな要因と思われる。案にある「AI等の活用によるターミナルオペレーションの最適化について」他港事例等具体的に示してほしい。	長期構想は、概ね20～30年後の北九州港の将来の姿やそれを実現するための施策の方向性を示したものです。なお、ご指摘のターミナルオペレーションの最適化に関しては、今後、港湾関係者等と協議を行いながら具体化に向けた検討を行っていきたいと考えております。	2	③
14	太刀浦コンテナターミナルの「コンテナ船の大型化への対応」について、航路等の浚渫のみならず、荷役機器(ガントリークレーン)の大型化も必須と考えられ、対応を長期構想にて望みたい。	コンテナ船の大型化への対応に関して、56ページで記載している太刀浦コンテナターミナルの再編の中で、併せて検討したいと考えております。	2	③
15	太刀浦コンテナターミナルに関しては、泊地内を埋め立てて第1コンテナターミナルと第2コンテナターミナルがつながる形になったら良いと思う。	いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	3	③
16	短期計画にて関門航路水深14mと合わせた浚渫を計画に盛り込んで頂きたい。	いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	2	③
17	門司港でバナナを取り扱い100年。この25年で入荷数量は1/4に減少。事業継続には市と連携して販路拡大、観光資源の活用に加え、老朽化した青果センターの再編が必須であり、それらが博多港への移管を阻止することにもなる。	いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	4	③

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
18	<p>コンテナ蔵置場所の最適化を図る AI システムや遠隔操作 RTG 等の導入の「目標時期」を短期・中期までとしていただきたい。</p>	<p>AI システムや遠隔操作 RTG 等は新技術に対応しながら、長期的に継続実施するものと考えているため、長期に渡って実施するものと記載しています。なお、導入に際しては、今後、港湾関係者等と協議を行いながら具体化に向けた検討を行っていきたいと考えております。</p>	2	③
19	<p>高規格な、デジタルを使った港作りに、一般の人が思い描くような大手の通信企業と提携して無人運転化が進む、というような部分が空洞化しているような気がする。身近な具体性がある長期計画と、そうでない長期計画があって、それが我々の望む長期構想と少し離れているような印象である。もっと具体性があるような、期待が持てるようなことを書ければいいと思う。一方で、もっと夢を書いてほしいという思いもある。これを基にぜひ前に進めるように期待したい。</p>	<p>ご指摘も踏まえ、この長期構想を基に、より良い港づくりができるよう努めてまいります。</p>	1	①
20	<p>フェリー・RORO ターミナルと自動車輸出岸壁及び保管ヤードは新門司・響灘にもたくさんあるが、候補地が多すぎると思う。</p>	<p>長期構想は概ね 20～30 年後の北九州港の将来の姿やそれを実現するための施策の方向性を示したものです。今後のモーダルシフトの進行や自動車輸出の需要を踏まえ、太平洋側ルートの新門司と日本海側ルートの響灘で棲み分けを行い、候補となる場所を記載しています。なお、来年度改訂を予定している港湾計画の中で、優先度の高いプロジェクトを計画に位置づけたいと考えております。</p>	2	③

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
21	61 ページの道路アクセスが北九州では一番重要である。臨海部の交通ネットワークをしっかりとつくと寂れてしまう。コンテナターミナルには高速道路が直結する形でないと話にならない。早く交通ネットワークをつくるべき。	交通ネットワークの拡充は重要な事項だと考えております。なお、来年度改訂を予定している港湾計画の検討の中で、関係者と協議していきたいと考えております。いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	3	③
22	響灘東地区の南岸壁横の貯木場跡は約10万坪あり、現在はまだ水面の状態であるが、木片が海底に溜まっており浅瀬であるため埋立に時間はかからないと思う。南岸壁は船混みがひどく、岸壁の取り合いのような状況になっている。企業が来てこれ以上利用が多くなっても思うように使えないので、岸壁も含めて早く整備をしていただきたい。	新たなバルク岸壁の整備は重要な事項だと考えております。なお、来年度改訂を予定している港湾計画の中で、優先度の高いプロジェクトを計画に位置づけたいと考えております。いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	3	③
「環境・エネルギー」分野に関する意見				
23	カーボンニュートラルに関しては、水素エネルギーの活用等は手が伸びていないため、まずモーダルシフトを推進したいと考えている。内航 RORO 船が着く岸壁の整備や鉄道の引き込み線の整備などを行っていけばよいと思う。モーダルシフトへの需要は高い。	モーダルシフトの推進は重要な事項だと考えております。いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	3	③
24	長期構想に書いてある労働力不足やSDGs で環境のために電気に切り替えるフォークリフトなどを同時に進めていかなければならない。	いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	3	③

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
25	<p>現在、太刀浦コンテナターミナルではストラドルキャリアを使用した荷役方式が行われているが、CO2削減のためストラドルキャリアでの荷役方法を見直す必要がある。ストラドルキャリアからテナー方式に変換することでCO2の削減、安全性、荷役効率の向上が見込まれ、将来的にも作業の省力化・人員不足解消を実現すべく遠隔自動運転が可能となる。</p> <p>しかし、太刀浦コンテナターミナル内のコンテナ置き場の不足により恒常的な飽和状態が続いているため、第1・2コンテナターミナルを稼働しながらテナーへの変換は困難と思われる。</p> <p>第1・2コンテナターミナル間の泊地埋立には長期的な時間を要するため、コンテナターミナルの拡張や各社空コン置場の更なる確保が必要である。</p>	<p>港湾における脱炭素化への取り組みは重要だと考えており、荷役機械の電化・FC化に関しては今後、港湾関係者等と協議を行いながら具体化に向けた検討を行っていきたいと考えております。いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>	3	③
26	<p>荷役機械の電化・FC化について、作業の効率、安全性の向上、人材確保・定着の面からも早急にストラドルキャリアをトランステナーへの荷役方式の変更が必要であることを明確に盛り込んでいただきたい。</p>		2	③
27	<p>都市に近いエリアにエネルギー拠点が出来るのは日本で珍しいと思います。ヨーロッパを超えるエネルギー都市になればいいと思う。</p>	<p>ご指摘も踏まえ、この長期構想を基に、より良い港づくりができるよう努めてまいります。</p>	1	①

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
28	海面処分場の位置づけについて新門司、太刀浦、ひびきの3カ所あるが、太刀浦地区の物流施設・用地のひっ迫状況を鑑み、太刀浦を最優先としていただきたい。(港湾計画においてでも良い)	長期構想は概ね20～30年後の北九州港の将来の姿やそれを実現するための施策の方向性を示したものです。なお、来年度改訂を予定している港湾計画の中で、優先度の高いプロジェクトを計画に位置づけたいと考えております。いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	3	③
29	太刀浦コンテナターミナルの問題はコンテナを置くスペースが無いことだと思う。第1コンテナターミナルと第2コンテナターミナルの間の泊地の埋め立ては今後進めていただきたい。		3	③
30	太刀浦埠頭埋め立て計画にて、分割しての埋め立て等の早期に土地を活用できる内容を盛り込んでいただきたい。		2	③
31	北九州市は環境都市として発信している。脱炭素化、カーボンニュートラル、SDGsなど積極的に取り組んでいると聞く。北九州港も響灘エリアの特徴を活かし、今後更に増えるLNG船へのバンカリング拠点として整備をするのはいかがか。	環境負荷の小さいLNGを燃料とした船舶の増加に伴い、LNGバンカリング拠点の重要性が増してきていると認識しており、63ページにLNGバンカリング拠点の形成を記載しております。なお、現在、北九州港においてLNGバンカリングの事業化を進めている事業者もおり、関係者と協議を行いながら具体化に向けた検討を行っていきたいと考えております。	2	①
32	洋上風力発電は周辺地域への経済効果も高いと聞いたことがあるので、これを機に福岡市のようにビジネスの力を伸ばせる環境になってほしい。	ご指摘も踏まえ、この長期構想を基に、より良い港づくりができるよう努めてまいります。	1	①

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
「人流・賑わい」分野に関する意見				
33	クルーズ船については、響灘に着けているが、門司を強化して門司に着けるべきだと思う。クルーズ船は夜着くことが多く、明かりが綺麗なことは非常に重要である。響灘地区は夜の明かりが少ない。コンテナターミナルで受け入れをしようとする大型バスも増え、コンテナのヤードの機能がなくなる。	クルーズ船の受け入れは、門司港レトロ地区や砂津地区等で受入環境の整備を進めていきますが、これらの地区で受け入れることができない大型のクルーズ船は響灘地区の貨物ターミナルを活用したいと考えています。なお、その際には従来の物流の機能を阻害しない範囲において実施していきます。	3	③
34	コロナ前は、国外からのクルーズ船も多く受け入れていたとは、知らなかった。コロナ後も見据えて、門司港を中心に、北九州市の観光が更に発展することを願っている。	この長期構想を基に、より良い港づくりができるよう努めてまいります。	1	①
35	クルーズ船は西海岸で受け入れていると思うが、背後に何もなく、岸壁サイドや船でブースを設置して対応していると思う。将来的にはターミナル等のクルーズを受け入れる施設の整備をしたほうがいい。	70ページに人流・賑わい分野の具体施策として、「クルーズを安心して楽しめる受入環境の整備」について記載しており、門司港レトロ地区でクルーズ船を受け入れる環境整備を進めていきます。いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	3	①
36	今の北九州市の沿岸域は市民から見ると危険で寂れた印象があるので（特に、倉庫や豆腐型のコンクリート製の建物）、綺麗になってほしいと思う。	市民が親しみやすい水辺空間の創出は重要だと考えており、71ページに人流・賑わい分野の具体施策として、「市民に親しまれる水辺空間の魅力の向上」について記載しています。この長期構想を基に、より良い港づくりができるよう努めてまいります。	4	①

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
「安全・安心」分野に関する意見				
37	古くなった施設をリニューアルすることが必要。せつかくある既存の港を補強していき、水深を深くしていだけで変わっていくと思う。	老朽化した港湾施設の戦略的な施設の更新や、泊地、航路の計画的な維持浚渫は重要だと考えており、75ページに安全・安心分野の具体施策として「港湾施設の戦略的なアセットマネジメントの推進」について記載しています。この長期構想を基に、より良い港づくりができるよう努めてまいります。	1	①
38	船社を呼べる港というところが大事であり、大きな船が入ってこれるように浚渫をしてほしい。		3	①
39	航路によっては浅いところがある。今後物流が盛んになると大型船も入ってくると思うので、航路の浅いところの対策を長期構想に位置づけてほしい。		2	①
その他に関する意見				
40	SDGsの目標年度が2030年である。2030年までにこういうことをしたいという強弱が見えにくい。来年度から実行に移す計画に、強弱をもう少し付けてほしい。	長期構想は概ね20～30年後の北九州港の将来の姿やそれを実現するための施策の方向性を示したものです。なお、来年度改訂を予定している港湾計画の中で、優先度の高いプロジェクトを計画に位置づけたいと考えております。いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	3	③
41	今後つくるものはクリーンにしていけないといけなと思うが、まずは稼ぐ力など産業が振興していく形にしていけないといけな。先にクリーンにするために規制をしていくといろんな場面で障害になると思う。	いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	4	③

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
42	<p>1 津波防災</p> <p>2 立地適正化計画</p> <p>3 防災指針</p> <p>4 都市計画</p> <p>5 コロナ等強力感染症防疫体制</p> <p>6 税収</p> <p>7 港湾使用料収入</p> <p>8 港湾施設維持管理費用</p> <p>9 港湾施設管理組織・人員</p> <p>10 誘致産業企業</p> <p>11 就労人口</p> <p>12 経済効果、港湾経済、運輸経済</p> <p>13 国防防衛、海上自衛隊 (艦艇寄港、基地化)、 米軍(艦艇寄港、基地化)</p> <p>14 朝鮮半島有事避難民収容</p> <p>15 観光、大型観光クルーズ船 償還</p> <p>16 施設設備建設建築費用・財源・</p> <p>17 世界アジア太平洋海運物流の現 状、動向、将来</p> <p>18 国内海運物流の現状、動向、 将来</p> <p>19 国内主要港湾と中国韓国 シンガポール主要港湾の 現状、動向、将来</p> <p>20 世界・国内大手海運会社現状、動 向、将来</p> <p>21 市民区民説明会、関係地区 住民・企業説明会の開催</p> <p>以上の点を検討して構想に入れるよう にされたい。</p>	<p>長期構想は、概ね 20～30 年後の北九州港の将来の姿やそれを実現するための施策の方向性を示したものです。長期構想の策定にあたっては、いただいた御意見の項目のうち、港湾管理者として考慮すべき項目については検討を行っています。この長期構想を基に、より良い港づくりができるよう努めてまいります。</p>	2	③

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
43	1 津波防災港湾施設の建設整備 2 コロナ等強力感染症防疫体制の樹立 3 コロナ等感染者・濃厚接触者収容施設、治療施設の建設整備 4 海上自衛隊基地の誘致 5 米国海軍・海兵隊基地の誘致 6 朝鮮半島有事避難民収容施設の建設整備 7 港湾労働者・技術者養成教育機関の新設、誘致 8 外国人港湾労働者・技術者用住居の建設整備 以上を構想に入れて下さい。	長期構想は、概ね 20～30 年後の北九州港の将来の姿やそれを実現するための施策の方向性を示したものです。長期構想の策定にあたっては、いただいた御意見の項目のうち、港湾管理者として考慮すべき項目については検討を行っています。この長期構想を基に、より良い港づくりができるよう努めてまいります。	2	③
44	今後の進め方として、市が主体的にやっていくとは思いますが、市だけで進められないものに関しては民間事業者と協議を行いながら実施してほしい。	取り組みを進める際には、民間事業者とも連携しながら進めていきたいと考えております。	3	③